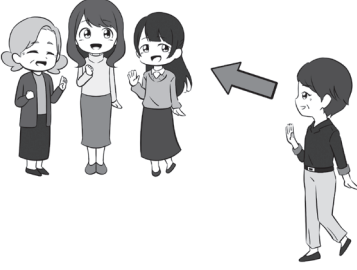
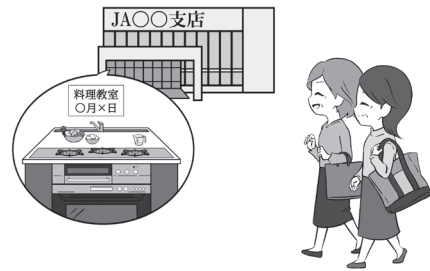
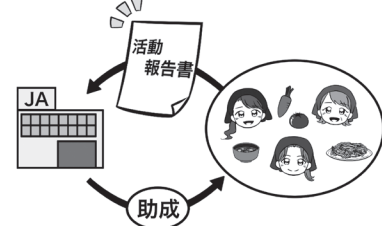


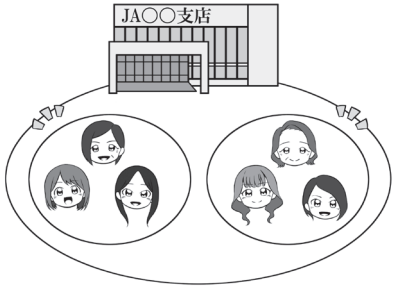
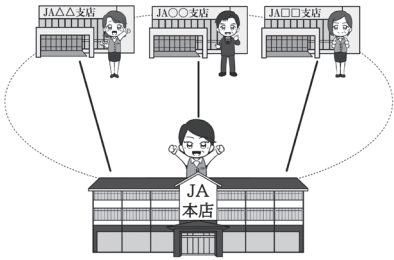
別表B

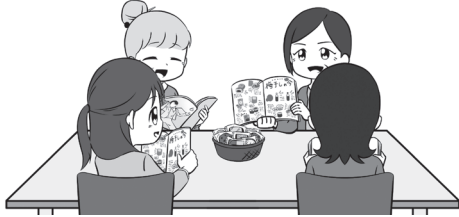
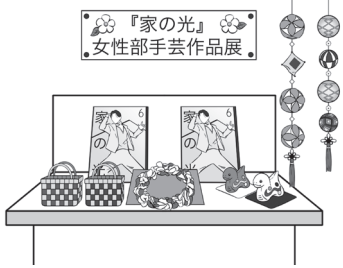
仲間づくりと活性化をすすめる5つの方向 具体例リスト

	方向	ポイント	具体例
① テーマ軸のグループ活動を強化する	(1) テーマ（目的）別の自主的なグループ活動を育て、活性化させる	・テーマ別のグループ活動をＪＡ女性組織の活動手段の主軸にすえましょう ・新しいグループ（５～１０名目安）を増やしましょう ・今あるグループのなかに新メンバーを迎え入れましょう ・同じテーマでもグループをたくさんつくり、仲間を増やしましょう ・グループには年５回以上の活動を促しましょう ・グループ同士の交流や発表の場を設けて、女性組織全体への関心を高めましょう ・支部段階で、無理なく集まれるメンバーから、グループづくりをすすめましょう ・支部内のグループだけでなく、支部の領域を越えたメンバーで構成されるグループづくりをめざしましょう 	☆ＪＡあつぎ【目的別グループと趣味別グループ】……ボランティア活動などを行う「目的別グループ」と、地域を超えて共通の趣味を持つ仲間の集まる「趣味別グループ」がある ☆ＪＡひまわり【わい！わい！活動】……支部制を撤廃し、教室形式の“単一目的（目的別）グループ”と手挙げ式の”多目的（エリア・自主的）グループ”が活動。「やりたいことを、気の合う仲間楽しく実現する」ことをめざす ☆ＪＡ小松市【本部活動の目的別グループ】……食農教育のグループなど、自主的な運営により活動が活発になっている ☆ＪＡぎふ【家の光小グループ交流会 “ときめきサロン”】……『家の光』の持ち寄り学習のほか、記事活用作品や野菜などを販売。おしゃべりタイムや体操など、参加者アンケートの意見をプログラムに反映している
	(2) メンバーの期待に沿った、くらしに密着した魅力的なテーマを設定する	・「ＪＡの女性組織」らしい主要活動テーマを設定しましょう（たとえば：「食と農」「健康」「防災」「ライフプラン」「環境」「娯楽」「親睦（旅行）」） ・各世代に共通したテーマを毎年設けて、幅広いＪＡ女性組織活動を促進しましょう（たとえば：「食と農」「健康」「防災」など） ・それぞれの世代に向けた魅力的な活動テーマを設定しましょう（たとえば：子育て世代向けに「親子参加型のイベント」「美容」、50～70代向けには「健康」「相続」など） 	☆ＪＡわかやま ありだ地域本部【①もったいない大作戦】……リメイクや食材の再利用などのアイデアを募集。インスタグラムを活用 【②ポッチャ大会】……誰でも参加しやすいスポーツ大会の開催 【③防災活動】……防災中期計画を策定し簡易トイレづくりなどを実施。『家の光』を活動活性化のヒントにしている ☆ＪＡ周桑【女性部田野支部 わくわくクラブ・集落別ミニグループ】……「暮らしに役立つ、趣味を楽しむ、健康長寿をめざす、仲間と楽しく交流を深める、地域が元気になる」をモットーに、活発に活動中。活動のさいは『家の光』読書会や記事活用を実施している
	(3) 学びを重視して社会的な広がりを持つ	・さまざまなテーマの活動をつうじて「学び」と「成長」を重視しましょう ・ＪＡ女性組織、ＪＡ、そして協同組合について積極的に学ぶ場を持ちましょう ・ＳＤＧｓへの取り組みなど、社会的な意義を意識した活動を重視しましょう ・「楽しい」かつ「ためになる」要素を取り入れましょう ・各種の学習をつうじて、ＪＡ女性組織の「リーダー育成」に意識的に取り組みましょう 	☆ＪＡ上伊那【班別懇談会】……ＪＡ役職員を交えた地域密着の学習会。各支所・集落公民館・集会所を会場として、統一資料をもとに“食の安全”“農業”“女性組織について”などの学習を深める ☆ＪＡ広島市【女性部の発案による協同組合学習】……「レディース講座」「トップ・支部長研修会」のなかで実施。女性組織の重点活動項目に「次世代のリーダーを育成し魅力ある活動を通して仲間づくりを行い、新規会員を増やすこと」を掲げ、ＪＡの理解者、ＪＡファンを増やすことをめざす ☆ＪＡ筑前あさくら【協同組合講座】……３年に一度、任期初年度に開催。女性総代だけでなく、女性部役員（地区部長）も参集。県中央会より講師を招き、１時間程度の時間を設け、協同組合の基礎的内容についての学習を行う
	(4) 参加しやすい組織づくり	・ピラミッド型の画一的な組織構造にとらわれず、柔軟な運営に努めましょう ・支部の解散などで所属先がなくなったメンバーのために、支部に属さない個人会員化など、柔軟な対応をとりましょう ・会費制度や名簿管理の方法などを点検し必要な改善をしましょう ・女性組織役員の役割や役員数を見直して役員の負担軽減に努めましょう ・本部役員会をグループ活動の代表者などによる“協議会方式”にするなど、必要な改善を行いましょう ・会員同士の連絡や行事の参加募集などにＳＮＳ（LINE など）を有効活用しましょう 	☆ＪＡ小松市【こまとくらぶ】……管内女性なら誰でも参加可能な伝承料理やみそ作りなどの講座。アンケートをもとに喜ばれる活動を企画。ポイントカードや支部女性部への加入などでメリットもある ☆ＪＡあいち中央【がやがやワクワク会】……支店で活躍する女性リーダー（組織代表者、女性大学修了生など）が集まり、支店の女性組織活動について協議し、支店運営に女性の意見を反映させるきっかけをつくる ☆ＪＡグリーン近江【①本部役員と支部役員の分離化】……役員の負担軽減に 【②協力隊】……支部役員のなり手がいない場合の協力体制を明確化 【③デジタルツールの活用】……独自のアプリやLINEを活用して連絡事務を効率化している ☆ＪＡひまわり【イベントサポートメンバー】……女性部活動時に、活動支援に協力するボランティアを募集している ☆ＪＡ菊池【個人会員制度】……大津支部女性部は地区グループ、職員グループ、個人会員、フレッシュミズで構成されている

	方向	ポイント	具体例
②メンバーの拡大と活動の充実・リーダーの育成に取り組む	(１)－１ 仲間を増やす（子育て世代へのアプローチ）	・まずは女性組織やＪＡの活動を多くの人に知ってもらいましょう ・対象者のセグメントを意識した取り組みを展開しましょう（たとえば：子育て世代に「農業体験」「資産形成」、50～70代に「生きがいづくり」「健康」などのテーマで） ・ＪＡ女性組織活動に参加してもらうために、地域住民にとってハードルの低い・間口の広い「入口」を用意しましょう ・具体的なメンバー増を意識した各種講座や教室を開設しましょう ・地元の飲食店などと連携して会員優待制度を設けるなど、女性組織メンバーになることのメリットを打ち出しましょう	☆ＪＡみやぎ仙南【女性大学ＯＧ会】……目的別グループとして発足。地域の女性を中心に自分時間コースと親子体験型コースの２部に分かれて講座へ参加している。ＪＡ事業の理解が促進され、事業利用拡大にも効果があった。女性部との交流も促進している ☆ＪＡあつぎ【こどもグリーンだより】……管内小学生全員に配布。食農に関する情報や親子向けの募集企画を掲載（プレゼントあり）。各種参加いただいた親子に対しＪＡ事業やフレミズの年間企画を紹介。フレミズ増員のきっかけになっている ☆ＪＡ晴れの国岡山【家の光ライフプランセミナーを女性部と協力して開催】……フレッシュミズ世代（ＪＡを知らない）を対象に、ＪＡ（事業）を知ってもらうための学習会を企画・運営。ＪＡ女性部が託児やスイーツ提供などに全面協力している
	(１)－２ 仲間を増やす（50～70代へのアプローチ）	・学校や行政、自治会など、他団体と連携して各種の行事に関わるなど、ＪＡ女性組織を幅広く知ってもらうとともに、社会的な貢献活動を行いましょう ・広報誌などの媒体やＳＮＳ、二次元コードなどを駆使して効果的な告知・人集めに取り組み、グループ活動や支部活動の参加に誘いましょう ・単発のイベントでなく、年間でストーリー性や継続性のある魅力的な企画を用意しましょう	☆ＪＡ福島さくら【①みそづくり】……地元産大豆を使用し、全地区で実施中。ＪＡの貸農園利用者など、地域住民を対象とした講習会にも発展している 【②健康スポーツ倶楽部】……ダンス、カラオケなど支部ごとに教室を設置。ウォーキングや運動会、弁当コンテストなども展開し広く仲間を増やすアプローチをしている ☆ＪＡ筑前あさくら【未加入者紹介制度】……グループ活動の参加者が女性大学「フルリスト」へ参加を希望する場合、女性組織未加入者の紹介を要件としている。メンバー増につながるとともに、ニーズに応える活動もより活発になっている
	(１)－３ 仲間を増やす（ハードルの低い・間口の広い「入口」を用意する）	おいしいケーキと コーヒーの講習会 	☆ＪＡいわて花巻【リンゴケーキ・おいしいコーヒーの講習会】……女性部活動の魅力を多くの地域住民に知ってもらい、新たな部員を呼び込む取組として実施している ☆ＪＡあつぎ【①女性部ふれあい体験】……1年間の女性部体験入部制度 【②次世代部“Neoフレミズ”】……組合員または組合員家族の女性20～55歳で構成。女性部の年代別組織として位置づけ、次世代部と女性部の活動に参加できる 【③ＰＴＡ出前授業】……ＪＡが地域のＰＴＡに出向くきっかけづくりとして出前授業を設置し、組合員が講師となって料理や手芸などの講座を実施。ＰＴＡ出前授業の活動をつうじてＪＡ事業やフレミズの年間企画を紹介。フレミズ会員が増えた。①②③をつうじ、地域の女性が料理や農業、健康、趣味、学校や地域活動など、さまざまなテーマや場面で女性組織に触れる機会を作っている ☆ＪＡあいち中央【フレミズの森】……次世代を対象に、食の安全安心を考える機会とし、ＪＡ事業の理解を促し活動から事業へつなげＪＡファン増大につながる活動を行う
	(２) 女性組織のリーダーを育成する	・多様なグループのリーダーを対象とした研修会を開くなど、活動グループのリーダー育成を重視しましょう ・グループ間の交流機会を設けてメンバー同士の交流の拡大を図るとともに、リーダーの経験蓄積と視野拡大をすすめましょう ・ＪＡの女性大学や組合員大学で、リーダーの学びの機会を増やしましょう ・グループ活動のリーダーが女性組織の役員となる方向で本部組織、支部組織の改革を検討しましょう 	☆ＪＡ上伊那【ミドルミズ大学（40～60代）、ナイスマーム講座（60歳以上）、カミーちゃん農園（45歳以下）】……世代別のリーダー育成の取組。なかでも「ミドルミズ大学」は『家の光』をテキストにブロック毎に開講している。組合員加入で受講料の減免もある ☆ＪＡあいち中央【ときいろカレッジ】……女性組合員リーダーを養成し、事業・経営への参加・参画に繋げる目的で開催。地元農産物を使用した商品開発を行い、ＪＡまつりで出店するなど“学び”“楽しみ”“考える”をコンセプトに実施している ☆ＪＡ筑前あさくら【フルリスト】……料理や旅行など多彩な内容で、管内6地区毎に開講している女性大学

	方向	ポイント	具体例
③「JAの女性組織」であることを重視する	(1) メンバーのJA組合員加入をすすめる	・JAの女性組織であることを学び、自覚する機会を増やしましょう ・グループ活動参加の条件にJAでの口座開設を求めるなど、JA事業とのつながりをつくりましょう ・JAは記念品や事業利用上の優遇措置など、組合員加入メリットを示しましょう ・女性組織メンバーの組合員加入促進運動をすすめましょう 	☆JAはだの【女性部ポイントカード制度】……女性部活動などに参加するとポイントがつく。JA組合員に新規加入した場合などでもポイントがつく。ポイントに応じて景品を用意している。ポイントカード制度を活用し部員の満足度を向上させるとともに活動の活性化をめざす ☆JAひまわり【加入条件にJA口座開設】……女性組織メンバーの事業利用率が高い。女性組合員・総代・役員の比率が第30回JA全国大会決議で掲げられた目標を上回っており、女性参画が進展している ☆JA北さつま【女性部学習会資料】……JA運動の意義と組合員加入メリットなど、イラストを用いてわかりやすくまとめた資料を作成。さまざまな会合で資料説明の時間を設けている
	(2) 女性組合員に女性組織への加入をすすめる	・未加入のJA組合員女性にとって魅力的な活動テーマを設定し、負担にならない、参加しやすい仕組みづくりをすすめましょう ・女性組織の加入メリットを示しましょう ・JAの他の組合員組織と連携して女性組織への加入を促進しましょう（たとえば：「年金友の会」「アンパンマンこどもくらぶ」「出荷者組合」など） 	☆JAひまわり、JA菊池【直売所との関わり】……産直出荷者組織協議会メンバーを女性部員としている（ひまわり）直売所の出荷会員は女性部員加入が必須である（菊池） ☆JAあつぎ【1部会1人増員運動】……支部の部会ごとに1人以上の増員を図るため目標を設定。女性部活動を紹介するパンフレットを作成し、全員で共有し加入促進を図っている。部員増員報告を行って、運動の成果を“見える化”している ☆JA岡山県女性組織協議会【仲間づくり運動要領に基づく支援を活用して増員】……JAと協力して、ウオーキングや料理講習など気軽に参加しやすいイベントを企画。地域ごとに目標を設定し、オリジナル勧誘ちらしやブレゼントを用意してイベントへの“お試し参加”の声かけをして、増員につながった
	(3) 活動拠点として支店（ふれあいセンター・加工所など）を整備する	・「使いやすい」「人が集まる」施設、「居場所」の機能を持ったJA施設を整備しましょう ・夜間や休日の活動サポートのために、施設利用のルールを決めましょう 	☆JAいわて花巻【きらきら星サークル】……各支部を中心に料理、手芸、読書ボランティアなどさまざまな活動を展開。学校や行政とも連携。活動参加を目的に地域住民が女性組織に加入するケースもある ☆JA広島市【レディース講座】……管内18会場で、共通テーマ“運動・ものづくり・美容”の座学3講座＋野外研修を実施。全体で合同閉講式を行っている。皆勤賞の方には記念品を贈呈している
	(4) JA役職員との交流で活動と事業の好循環を促進する	・女性組織と本・支店職員との交流会を持つなど、両者の接点づくりと相互理解に努めましょう（とくに渉外・LAの理解促進） ・多くのJA職員に女性組織活動に参加してもらい、女性組織への認識を深めよう ・女性組織とJAの結びつき強化で、地域社会における双方の存在価値を高めあいましょう ・JA役員と女性組織メンバーとの意見交換会を行い、女性の声をJA運動に反映しましょう 	☆JAグリーン近江【支店職員との懇談会】……窓口・渉外職員と女性組織メンバーとのつながりが強化され、双方に好評である。土日にお菓子作りを行う支店もある。相互に組織活動への理解が深まっている ☆JA福岡市【まめひめ】……みそ造りを通じて、地域住民や子どもたちと一緒に活動することで、日本の伝統食である「みそ」の良さと食の大切さを次世代に受け継ぐことを目的とする女性グループの活動。本支店職員も参加し、組合員・地域住民、小学生・保育園児との交流を促進し、食農教育の機会になっている。また、JA事業や教育文化活動の説明も行い、事業利用拡大にもつなげている
	(5) 活動費用の分担方法を変える	・JAから女性組織への助成は、一律の組織助成から活動実態に応じた助成の方向をめざしましょう ・グループ活動の助成を活動回数や実績に応じたものにしましょう 	☆JA上伊那【役員手当、活動費】……活動状況に応じて経費を助成。メンバーの帰属意識が高められている ☆JAひまわり【グループ活動助成】……人数割により活動経費を助成。活動資材は受益者負担で、女性組織メンバーとしての会費の徴収はない ☆JA広島市【事業利用、実際の活動に対する助成】……記事活用研修や記事活用グループなど活動実態に基づき助成。また、活動助成ではないが女性組織メンバーから「子育て支援募金@100円」を募り管内小学校へ『ちゃぐりん』の寄贈も行っている

	方向	ポイント	具体例
④支店エリアの活動を重視する	(1) 支店エリアの活動を重視し、活性化させる	・支店エリア内にたくさんの活動グループをつくって、支店の活性化につなげましょう ・支店全体の職員理解で女性組織の活性化とJA事業・地域の活性化に努めましょう ・支店に女性組織担当の職員を置きましょう ・支店長・支店職員の女性組織に関わる役割を分掌規程により明確化しましょう ・特定の職員に依存しない仕組みをつくりましょう ・支店運営委員会やふれあい委員会などと連携して、女性組織と支店の活性化につなげましょう 	☆JAいわて花巻【業務分掌表】……女性部支部の事務支援は支店組合員課が担うこととしており、業務分掌表において支店長や組合員課長が責任者であることの役割を明確にしている ☆JA筑前あさくら【①女性部サポーター制度】……金融窓口担当職員にも女性部活動に協力・参加を求める制度 【②カロリング】……年齢を問わず楽しめることから全地区（7地区）でカロリング大会をそれぞれ実施。小グループ毎にチームを作り、職員と女性部との交流・親睦を深める目的で（支店協同活動の一環）実施している。地区予選で選抜されたチームは本大会に出場。本大会ではJA役員チームも参戦。女性部チームには職員も混ざり大いに盛り上がっている ☆JAあいち中央【がやがやワクワク会】……①（4）参照
	(2) 本店と支店の役割分担	・本店と支店の担当者が密接に連携・交流し、問題意識・方向性を共有しましょう ・男性・女性の性別によらず担当職員を配置しましょう ・女性組織事務局を経験してから支店に異動するなど、支店と女性組織との良好な関係構築に配慮しましょう ・支店の領域を越えて結成されるグループ情報などを全体で共有しましょう ・OB・OGの再雇用や女性組織活動を支援するボランティアスタッフを募集するなど、JA外にも目を向けましょう ・JAとして女性組合員の意思反映・運営参画の仕方を工夫して制度化しましょう 	☆JAあつぎ【活性化委員会】……本部役員と女性理事で構成。女性組織のさらなる活性化及び組織基盤の強化に向けた取組方策や課題について、グループ方式で多様な意見が出やすいようにし、協議検討を行う ☆JA小松市【“組合員の意思反映・運営参画要領”に基づく連携協力体制の構築】……支部活動は支店長がメインとなるものの、支店長任せにならない体制づくりをすすめている ☆JA広島市【ブロック内の支部活動を本部からフォロー】……ブロック毎に配置した担当者は本部活動の集客、出欠等管理、旅行の引率等を行う。支部活動については、必要に応じて本部から出向いてフォローする体制を整えている
	(3) 本店・支店の事務局職員の育成・スキルアップ	・担当職員の役割（実務者：マネージャー、企画者：プランナー、啓発者：エデュケーター、促進者：ファシリテーター）を認識し、スキルアップに努めましょう ・担当者会議や他部署の職員も入った研修会や活動発表会を開催するなどして、支店長を含めた職員の組織活動への意識向上と相互研鑽を促しましょう 	☆JAあいち中央【①ブロック会議】……支店長、次長、くらしの相談員、ふれあい担当者が出席し毎月開催している。ブロック内で、統一事項の共有、協議事項については、問題意識をもち意見を出し合い改革していく場とする。 【②活動報告会】……くらしの相談員が、年度初めに自身の活動テーマを決め、それに沿った活動結果を振り返り、次年度の活動につなげるため年1回開催している。【③家活グランプリへの応募】……くらしの相談員の活動報告会で報告した料理教室や手芸教室の“家活”を応募している ☆JA土佐くろしお【めだかの学校】……『家の光』記事活用グループ。女性組織メンバーと職員をつなぐサークル活動として、職員の組織活動への意識を高めている

	方向	ポイント	具体例
⑤家の光事業を活用して女性組織の存在価値を高める	(1) 日々の記事活用・文化活動で、くらしを豊かにしよう	・『家の光』を読んで知識を広めるとともに、J A 運動への意識を高め、くらしを豊かにしましょう ・『家の光』を女性組織の活動にどう活用できるか考えましょう（たとえば：料理教室、手芸教室、健康教室、園芸教室、防災教室など） ・諸会合で『家の光』を読む機会を設けることで、他者の視点からの気づきと学びを得て、読書をつうじたメンバーの交流・相互理解をすすめましょう ・小グループ、目的別グループの活動に『家の光』を活用しましょう（たとえば：家の光記事活用グループから、J A 事業・活動の活性化への発展……加工グループが新商品を開発、園芸グループが直売所に出荷、料理グループメンバーによるフレッシュミズへの伝承料理の講習会、など） 	☆第 66 回全国家の光大会（令和 7 年 2 月開催）記事活用体験発表より、日々の活用事例（概要抜粋） ・家族と一緒に『家の光』『ちゃぐりん』を読んで、環境問題や SDG s について知識を深める ・記事で紹介されていた農業者に会いに行き刺激を受け、規模拡大や農業の魅力発信に取り組む ・園芸記事を活用して野菜栽培、生長の経過を仲間に LINE で共有している ・女性組織の役員会で J A のページを読み合わせ、協同組合理念を学ぶ ☆J Aいわて花巻【きらきら星サークル】……④（3）参照 ☆J A晴れの国岡山【家の光ライフプランセミナーを女性部と協力して開催】……②（1）－1 参照 ☆J A周桑【女性部田野支部 わくわくクラブ・集落別ミニグループ】……①（2）参照 ☆J A土佐くろしお【めだかの学校】……④（3）参照 ☆J Aにじ【家の光 お月見読書会】……毎年開催のイベント。各地区代表者が『家の光』で心に残った記事をステージ上で朗読し、感想を話す。その後ゲストを招いた記念公演を行う ☆J Aあまくさ【家活クラブ読書部】……女性部の現役役員がメンバーとなり、『ちゃぐりん』を活用した手作り食農教育紙芝居で読み聞かせをするなど、多彩な活動を実践している
	(2) 活動の成果を共有しよう	・女性組織による記事活用体験発表、作品展示など、自己表現の場として J A 段階の家の光大会を充実させましょう ・支店窓口の「家の光ディスプレイコンテスト（記事活用作品や『家の光』読みどころなどの展示）」など、地域の拠り所としての支店を充実させましょう 	☆J Aあきた北【女性部大会並びに家の光大会】……活動発表のほか、地元中学生のヒップホップダンス、自給菜園コンクール表彰式、さまざまなカルチャー講座の発表を実施。800 人の女性組織メンバーが一堂に会し、支部間の相互交流と『家の光』の幅広い活用を図る ☆J Aぎふ【家の光小グループ交流会“ときめきサロン”】……①（1）参照 ☆J A筑前あさくら【家の光ディスプレイコンテスト】……全支店でディスプレイを実施。女性組織メンバーは『家の光』記事活用作品の展示などで協力している
	(3) 活動を地域に広げよう	・女性組織の取り組む地域貢献活動に、『家の光』の実用記事（料理、手芸、健康、園芸、防災など）を活用しましょう ・『家の光』に掲載されている女性組織の活動事例を、自身の女性組織の活動に取り入れましょう ・『ちゃぐりん』を活用して子どもたちへの読み聞かせや農業体験など食農教育をすすめましょう 	☆J Aうつのみや【女性部の仲間で“畑の教室”】……野菜づくりと、子ども食堂への野菜提供を行っている。『家の光』をテキストに野菜づくり、子ども食堂の献立に活用している ☆J Aあつぎ【PTA出前講座】……②（1）－3 参照 ☆J Aわかやま ありだ地域本部【防災活動】……①（2）参照 ☆J Aあまくさ【家活クラブ読書部】……⑤（1）参照